

# リンクリング

～みんなをつなげる・みんなの輪～

《 10周年記念誌 》



都城市ファミリー・サポート・センター

# メッセージ



都城市長  
池田 宜永

ファミリー・サポート・センターが、このたび10周年記念誌を発刊されるに当たり、一言お祝いを申し上げます。

ファミリー・サポート・センター事業は、育児等の援助を受けたい利用会員と育児等の援助を行いたい援助会員の相互援助活動により成り立つ事業であります。これまで本事業を支えていただいたセンター及び会員の皆様に対し、深い敬意と感謝の意を表する次第です。

本市は令和2年3月に、第2期都城市子ども・子育て支援事業計画を策定し、「すくすく笑顔の子育ち いきいき笑顔で子育て みんなで支え合う みやこのじょう」の基本理念のもと、子ども・子育て支援の充実を図っています。

本事業は「みんなで支え合う」地域ぐるみの子育て支援として、また、本市が推進する「仕事と子育ての両立支援」に資するものとして、大変重要な事業であります。地域の中で子どもと子育てをみんなで支え合い、子どもを生き育てやすい環境づくりを目指して、これからも取り組んでいく所存でございます。

最後に、これまで本事業を支えていただいた会員の皆様を重ねて感謝を申し上げますとともに、市民の皆様のより一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。御挨拶とさせていただきます。



社会福祉法人  
都城市社会福祉協議会  
会長 島津 久友

都城市ファミリー・サポート・センター（以下「本センター」）が、令和3年4月1日に開設10周年を迎えるにあたり、開設から今日に至るまでの間、援助会員・利用会員の皆様と本センター運営にご尽力いただきました関係者の皆様には深く敬意を表しますとともに、心よりお礼を申し上げます。

開設当初は、本センターがどこまで定着できるかと不安な面もありましたが、皆様のご理解とご協力により、現在では、会員数が1,000名を超え、年間活動件数も5,000件を超える、本市の子育て支援にはなくてはならない存在になっています。

子育て支援のニーズがますます多様化し、子育てに対する不安感も増している中で、本センターの活動は、子育て家庭の大きな安心感とそれを援助する地域住民のやりがいにつながっていると信じています。その安心感とやりがいがさらに次の子育て世代へ、さらには誰もが安心して子育てできる地域社会へとつながることを期待します。

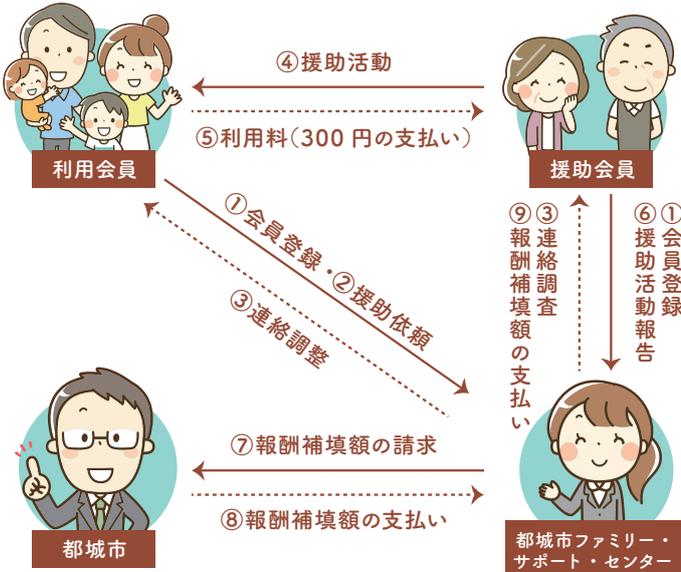
地域福祉を推進する中核的な団体として、私ども都城市社会福祉協議会は、本センター事業を、地域福祉の推進のための重要な事業の一つとして考えており、今後さらに本センターを充実・強化させていきたいと考えております。

# 都城市ファミリー・サポート・センター概要

- 目的 地域において、育児などの援助を受けたい方(利用会員)と援助を行いたい方(援助会員)からなる会員組織で、会則に基づく相互援助活動を実施する。併せて、子育てすることに「喜び」と「夢」をもてるような“福祉コミュニティ”を形成することを目的とする。
- 開設 平成23年4月1日
- 運営主体 都城市(福祉部 保育課)
- 運営委託先 社会福祉法人都城市社会福祉協議会(地域福祉課)
- 住所 都城市松元町4街区14号 都城市総合福祉会館2階
- 開設時間 9:00~17:00 / 月~金(土日祝日年末年始は休み)



## 援助のしくみ



## 会員の要件

### 【利用会員】

- 都城市内にお住まいの方
- 都城市内の保育園・幼稚園・学校に通園・通学している子どもさんをお持ちの方
- 育児等の何らかの援助を受けたい方
- 0歳から小学6年生(障がいのある子どもは18歳)までの子どもがいる方
- センターのしくみを理解する為の研修(30分程度)を受けた方

### 【援助会員】

- 性別は問いません
- 都城市内にお住まいの方
- 心身共に健康で子育て支援に意欲のある方
- 研修(24時間)終了後に会員登録

## 10年間の実績報告(平成23年4月~令和3年2月28日)

### 登録会員数



### 活動件数



### 主な援助活動

1. 子どもの習い事等の送迎 6,714件
2. 対象児童の支援学校等への送迎 6,659件
3. 保育園・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり 2,616件
4. 保護者等の外出の際の預かり 2,193件
5. 保育園・幼稚園の登園前の預かり及び送り 1,851件

### 主な活動内容及び預かり場所

1. 送迎 20,313件
2. 援助会員宅での託児 2,470件
3. センター内での託児 2,596件
4. 利用会員宅での託児 2,571件
5. その他(歯医者待合室等) 643件





# 都城市ファミリー・サポート・センター 開設10年のあゆみ



平成 23 年 4 月 1 日

## 都城市ファミリー・サポート・センター開設セレモニー

祝吉地区子育て相互援助事業「茶っぴサポート」(H22 年 10 月開設)との連携



平成 23 年 12 月

「わらべうたによる手遊び指導」

情報交換会及びフォロー研修会

会場：都城市総合社会福祉センター 指導：わらべうたグループのびっちょ

平成 24 年 5 月

## 広報みやこのじょう「人の風景」にて、職員 3 名が紹介される

平成 24 年 7 月

## フォローアップ研修会

「こどもの怪我の応急手当の習得  
～身近な物を使ってできる応急手当について～」

会場：都城市総合社会福祉センター 指導：日本赤十字社宮崎県支部 椎屋藤雄氏



平成 24 年 10 月 第 1 回アンケート調査実施

平成 25 年 2 月

## 情報交換会「ファミリーコンサート」

会場：都城コミュニティセンター 出演：sayuriann(本名 有満さゆり氏)



平成 25 年 8 月 情報交換会(都城市地区社会福祉協議会連絡協議会との協働事業の開催)

「ファミリーコンサート～みんなで楽しいひとときを～」

会場：高城生涯学習センター 指導：小さな音楽会(代表 川崎圭子氏)

平成 25 年 9 月

宮崎県ファミリー・サポート・センター担当者研修会がスタート



平成 25 年 10 月・11 月

## 情報交換会「食育講話・手作りのお菓子試食」

会場：都城コミュニティセンター 講師：食育指導士 前原恵子氏

平成 26 年 2 月 ※リスクマネジメント研修の導入

## 援助・両方会員フォローアップ研修会 昼の部/夜の部に分けて実施



平成 26 年 3 月

県南ブロックファミリー・サポート・センター担当者情報交換会がスタート

(日南市 三股町 小林市 えびの市 都城市)

平成 26 年 8 月 フォローアップ研修会・情報交換会「親子でヨガ・ピラティス体験」

会場：都城市総合社会福祉センター 講師：笑いヨガ教室 ピラティス教室 インストラクター 剣田加代子氏



平成 27 年 9 月 第 2 回アンケート調査実施

平成 27 年 10 月

## フォローアップ研修会及び情報交換会

「子育て応援のついで トークショー“助けられ上手・助け上手な子育てのすすめ”開催」

会場：都城市交流プラザ  
コーディネーター シャンティブレマ 代表 外山 與子氏  
パネラー 乙房認定こども園 園長 刀坂 弘毅氏  
ほのか助産院 助産師 安藤 直美氏  
ボン太クラブ 会長 外山 明美氏



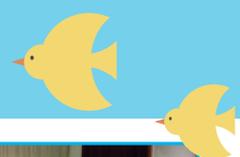
平成 28 年 4 月

## 都城市より利用料金補助(第 1 子のみ 1 時間あたり 300 円)がスタート



都城市ファミリー・サポート・センター  
☎・FAX 0986-26-3810 (受付時間 月～金、9時～17時)

〒880-0077 宮崎県都城市 4-1-16 都城市総合社会福祉センター



平成 28 年 7 月

### 情報交換会「みんなあつまれ!子育て交流会」

演題:「笑う門には美もくるよ～子育てママはビューチーだ～」

会場: 都城市総合社会福祉センター  
講師: 相良 照代氏



平成 28 年 12 月

熊本県合志市ファミリー・サポート・センター研修視察(病児保育に関する研修)

平成 29 年 2 月

援助・両方会員フォローアップ研修会(都城市地区社会福祉協議会連絡協議会との協働事業) 昼の部/夜の部に分けて実施

平成 29 年 3 月

### みやこんじょボランティアフェスティバル 2018 子育て応援ひろばにて「もののトレード」を開催



平成 29 年 7 月

### 子育て応援イベント「子育て応援ミニフェスタ」の開催

会場: 都城市総合社会福祉センター(都城市地区社会福祉協議会連絡協議会との協働事業)

平成 29 年 12 月 フォローアップ研修会「子育て孫育て応援講座」

会場: 都城市総合社会福祉センター 講話:「子育て支援～アンガーマネジメント活用術～」  
研修講師: 綿井 祐子氏

実技指導:「手作りおもちゃ作成講座」  
講師: 都城市社会福祉協議会 保育士

平成 30 年～

援助会員養成講座 24 時間カリキュラム導入(病児・病後児緊急対応強化事業に向けての事前準備として)

平成 30 年 8 月

### 子育て応援イベント「子育て応援ミニフェスタ」の開催

会場: 都城市総合社会福祉センター(都城市地区社会福祉協議会連絡協議会との協働事業)



平成 30 年 10 月 フォローアップ研修会「子育て孫育て応援講座」

会場: 都城市総合社会福祉会館 講話:「生きる力の根っこを育む～教育～遊育～」  
講師: 一般財団法人プレイパーク協会理事 天野 秀昭氏

### 平成 30 年 11 月 未来みやざき子育て表彰「ファミサポ功労者の部」

受賞者 廣末久子氏(サブリーダー/援助会員)



平成 31 年 3 月 登録会員 1,000 人突破

平成 31 年 4 月

### 病児・病後児援助活動事業スタート



令和元年 7 月

### 子育て応援イベント「子育て応援ミニフェスタ」の開催

会場: 都城市総合社会福祉センター(都城市地区社会福祉協議会連絡協議会との協働事業)

令和元年 9 月 第 3 回アンケート調査実施

令和元年 10 月

### 都城市社会福祉協議会会長表彰(ボランティア活動功労部門)

受賞者: 廣末 久子氏 / 芹ヶ野 ヒサ子氏 / 桂木 京子氏 / 蓑輪 陽子氏 / 五月女 政子氏

令和 2 年 10 月

### 都城市社会福祉協議会会長表彰(ボランティア活動功労部門)

受賞者: 又木 香保里氏 / 二見 みち子氏 / 大渡 瑠璃子氏 / 東 重魁氏 / 迫田 栄子氏 / 斉藤 美穂子氏



令和 2 年 10 月 フォローアップ研修会「交通安全教室」の開催





# ファミサポの10年を振り返って

日時：令和3年2月8日(月)13:30～15:30 都城市総合社会福祉センター



## インタビュー

都城市社会福祉協議会  
地域福祉課  
地域福祉係長

**内田 文子**

## みんな当事者だった

**内田**：今日は皆様のお話を伺いながら、この10年を辿っていきたいと思います。では、ファミリー・サポート・センター(以下ファミサポ)が立ち上がった経緯や当時のお話を。

**西**：当時、都城市の総合計画を見ると、市長がファミサポを立ち上げるとの情報がありました。地域のキーパーソンの方々と地域で子育て事業ができないかなと協議していて、その中で、五十市と中郷から子育てサロンを作りたい、祝吉は子どもを預かって欲しいとの意見があり、こういう事業をすべきだと確信し、隣市に視察・研修に行きました。そして、それぞれに子育てに事情のある者がそろって、私も含めて当事者で、どんな人でも受け入れられる、自分が一番して欲しかったことを考えることができました。当事者の思いをちゃんとわかる人たちが立ち上げたのが良かったのかなと思います。

都城市社会福祉協議会  
元地域福祉課長  
**西 いく子氏**



**内田**：その当時のファミサポのサブリーダーであった小田さんは、振り返っていかがですか？

**小田**：人とのつながりって大事で、子育てサロンの中で、いろんな子どもを見ながら、勉強しながら立ち上げていきました。ゼロからのスタートなので、いろんな

壁にぶち当たってきたけど、そこを何とか乗り越えて来られたと思います。

## ファミサポが社会とのつながりに

**内田**：ファミサポが立ち上がる以前に援助活動をされたことのある芹ヶ野さんは、実はボランティアセンターからの紹介です。

**芹ヶ野**：五十市公民館でボランティアをしていた頃、相談を受け、子どもが大好きで気軽にOKしたのが最初でした。その時はご自宅に伺いお買い物したり、お料理を作ったりとかの援助でした。ファミサポが立ち上がる時、お声がかかったのがありがたくて、それで、丸10年。自分がこんなに活動的になって、社会に出て、地域の方のことが色々わかって。現在、五十市の民生委員をできるようになりました。いろんなことを学び、自分の人生…感謝です。いまだにお誕生日に花束をくださる人もいますし、この前、修学旅行のお土産をいただいてほんとに感激しました。人と人のつながりって大事だなとこの年齢になって感じています。



援助会員  
**芹ヶ野  
ヒサ子氏**

## 人と人をつなげること

**内田**：ファミサポアドバイザーとして、どのようにマッチングをすすめていますか？

**茶蘭**：地域やその子に合った援助会員さんを探しながらすすめています。サブリーダーとも常にディスカッションしながら、必要な情報はできるだけお伝えして、サポートに入ってもらうようにしています。また、お母さんに対する声かけも、気配りもするように心がけています。

主任児童委員の経験も大いに役立っています。そして、ファミサポの基本ルールからあまり大きく外れないようにとも心がけています。

## ファミサポとともに成長する社協

**内田**：都城市社会福祉協議会(以下社協)の地域福祉課の立場としては？

**櫻田**：ファミサポも福祉教育だと思います。関わる人いろんな活動する中で学びがあり、利用会員も援助会員と関わることでどんどん成長していきます。このファミサポをさらに「進化」と深くなる「深化」をさせていかないといけないと思います。昔、西さんに「心を動かせ。心が動けば体が動く。体が動いて行動に出るから」って言われました。

**内田**：地域で今、子育てサロンが6か所ありますが、祝吉の「茶っついサロン」がきっかけとなったとか。

**茶蘭**：平成21年度に実施した「子育て応援体制整備推進事業」を担当した時、地区担当と一緒に地域に出向き五十市、中郷の子育てサロンの立ち上げに携わりました。また、祝吉の子育てサロン「茶っついサロン」の中に「茶っついサポート」という形で祝吉版のファミサポをつくりました。「茶っついサポート」は、祝吉にある、社会福祉法人まりあ「デイサービスセンター福さんの家」の1室を活動拠点としてお借りしました。

高齢者施設に子どもがくると施設の利用者さんも、元気が出るという相乗効果があり、福さんの家の方も喜んでくださっていました。

アドバイザー  
**茶蘭 洋子氏**



## 地域の中で子どもも親も 地域も育ちあう

**内田：**それでは、都城市としての子育て支援について、今までの話の感想や現状等をお聞かせください。

**飯盛：**当市では、援助会員養成講座に十何人も受講して下さるが、他では受講生が集まらないということがありません。茶園さんの力、援助会員さん皆さんの力、当事者で作ること、綿密な調査、地域に寄り添ってやっているというのが成功要因のひとつと思っています。行政として利用料補助の部分をサポートしていますが、社協に委託した意味合いは大きいと思います。今までの子育ては、お父さんお母さん、そして家族で成り立っていて、20年前までは子育て支援という言葉はなかった気がします。本当は困っている部分を助けるのが子育て支援だと思うのですが、逆転することがあり、本来はお母さん達に頑張ってもらいたくないがしろになる場面もありますが、そこはコーディネーターの方がうまく線引きしてくださっている。



都城市福祉部  
保育課  
**飯盛  
香奈子氏**

**茶園：**10年前は考えられなかったという支援も今は必要だと。子育てに疲れた時はお預かりしますよ、というスタンスです。

**内田：**地域の中で子どもたちも親も一緒に育てていくという、地域全体で子育てをやっていくところを都城の強みにしていければと思うんです。だからファミサポは地域福祉になるんですね。

**茶園：**「都城は子育てがしやすい」と言われます。

**飯盛：**アンケートでもよく見ますが、そ

の要因は、制度の充実というより、地域の声かけとか子育てしやすい環境です。地域って大事だなと思います。

**内田：**6か所の子育てサロンでは、「どこから来てもいいですよ、都城の人たちをみんなで育てよう」としてくださっています。それは都城の地域のあたたかさだなあとつくづく思うのです。

**小田：**そこまで、みんなの意識を成長させたっていうのがあるよね。みんなの努力があったからですよ。



元サブリリーダー  
**小田 裕子氏**

**茶園：**ご近所の方と話せない、子どもの泣き声すら隣に迷惑をかけるという時代が来て、昔、自分が経験した井戸端会議みたいなものを組織するのがファミサポかなって。そして今度は、芹ヶ野さんみたいな方が一人で生活していたら、周りの方が気にかけてくださるような地域ができていけばいいですね。

## これからの10年は 進化・深化・新化

**内田：**最後にこれからのファミサポについてお聞かせください。

**小田：**私たちは、地域の福祉、若い子育て中のママ達に福祉を教える入口に携わっていることを、これからも意識しながら、福祉活動を大事に続けていきたいと改めて思いました。

**西：**線はちゃんと引きながら、社協がファミサポを受けた意味を考えながら地域福祉を推進して行くこと。それがこれから大きな意味を持ってきます。そして、新しく変わっていくもの、それもまた楽しみで期待したいと思います。

**芹ヶ野：**私みたいにどっこいしょ！っていう階段を上る勇気を持ってほしい。私も階段を2つも3つも上がってきた。

いろんなことに積極的になれました。本当にありがたいです。感謝です。

**飯盛：**ファミサポのスタートは地域での子育て、地域福祉だった。途中から子育て支援制度がはじまって、仕事と子育ての両立支援という大きい枠の中に入り込んでいますが、一言では片づけられません。社協と皆さんがつくり上げてきたものが今後どう変わっていくのか楽しみです。今、援助を受けている子どもたちが将来利用会員になる…そんなつながりも楽しみです。

**茶園：**この10年で行政からの補助金体制が整い、病児病後児保育の体制も整えることができました。時代にあった援助活動がこれからも続いていけばと思います。ファミサポの基本である、「人と人とのつながり」を大事にしていきたいです。



**櫻田：**ファミサポが地域福祉の入口だったら、やっぱり出口は私達社協が考えていくことで、

都城市社会福祉協議会  
地域福祉課長  
**櫻田 賢治氏**

ファミサポとのいろんな関わりから出てくるニーズや困りごとをちゃんと受け止めて新しい活動(新化)につなげていこうと思います。出口もちゃんと広げて新たな社協の活動につなげていきたいと思っていますので、これからの10年期待をしてください。ありがとうございました。



# みんなの声

## こんなに大きくなりました!



私は長男が2歳の時に都城市に引っ越ししてきました。知らない土地に引っ越しに来て誰も頼る人がいない中、次男を妊娠、出産しました。毎日の育児、家事を1人でこなしていくのが大変で不安で仕方なかった時に、ファミリーサポートセンターがある事を知り、利用するようになりました。

援助会員さんは、皆さんとても良い方で、長男、次男が小さい時から安心して預ける事ができました。最近は子どもたちが大きくなり、利用する頻度も少なくなったのですが、私が仕事で子ども達の塾の送迎が出来ない時に利用しています。小さい時からずっとお世話になっているのでとても安心で、援助会員さんにも子どもの成長を見てもらう事ができ、嬉しく思っています。将来、子育てが一段落したら、今度は私が子育てに困っているお母さんのお手伝いが出来たらと思っています。ファミリーサポートセンターの方には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にいつもありがとうございます。

両方会員 三削めぐみさん



ひなた 陽詩君8歳

しゅうと 心優人君10歳



県北の方から都城市に引っ越ししてきて、子どもが0歳2歳3歳の時に利用していました。最初は、不安でしたが援助会員さんも優しい方ばかりで安心して預ける事ができました!!

そのお陰で私の仕事も決まり子ども達の保育園も決まりました。

親切なサポートを受ける事が出来てとても幸せな生活が送れています。

また、機会があれば是非利用したいと思っています!!

利用会員 甲斐祐衣さん



ぎんじ 銀次君5歳

きんじ 金次君6歳

はな 花ちゃん3歳

## 援助会員さんの声



援助会員 大渡和義さん

現在、4人の学童の送迎等を担当しています。

私には孫がいまないので、ファミサポの援助会員として、子どもたちと接することができて、楽しくワクワクして嬉しいです。小さな子どもたちはとてもかわいく、愛おしいです。

送迎の活動時間はとても短いのですが、親御さんの大切なお子様をお預かりするので、責任は重大です。今は、日々のやるべきことの中でファミサポの活動を最優先しています。

これからも、子どもたちの成長を楽しみに活動を続けたいと思います。



援助会員 緒方二三枝さん

娘の子育て中、私はあまり孫育ての手助けをする機会がありませんでしたが、今、ファミサポの活動を通じて小さな子どもたちに接する機会を得て、とても幸せを感じています。自分の人生の中で、こんなことができるとは思ってもいなかったのでいい経験をさせていただいています。まだまだ元気に動けますので、少しでも忙しいお母さんたちの力になればと思っています。



なおと 和響君4歳

ファミサポを生後2ヶ月の時から利用しています。

小さいときから見てもらっているおかげで、今では援助会員さんは実のおばあちゃんのような存在です。「ばあばあ行く!」と自分からねだるくらいばあばの家は、とても快適な空間になっているようです。(笑)

当初は3番目の子どもだけ利用していましたが、今では上の子ども達の習い事の送迎もお願ひしています。長男は援助会員さんによく話しをするらしく、私の知らない情報を援助会員さんから聞いたりするので、長男の良き相談相手にもなって下さっているようです。

私自身も、子育てをするなかで援助会員さんと色々話したり、相談にのってもらったりと、とても助かる存在です。今後もよろしくお願いいたします。

利用会員 岡本愛子さん



援助会員 平井良子さん

現在、民生児童委員をしています。

地域社会における人と人の繋がりが希薄化している中で、子育て支援に対して何ができるのか…模索している時にファミサポ事業に出会いました。

活動のてびきの趣旨にある「ゆとりを持って子育てができるように育児に関する相互援助を行います」の一説は、都城のファミサポのすばらしいところ。すぐに援助会員となり、その後、地域の中で孤立している家族を知り、相談や託児等のサポートに入りました。この時、ファミサポ事業の必要性を痛感するとともに、わたくしにとってもいい経験となりました。

ファミサポのセンターでは、援助会員が安心して援助活動に取り組めるよう、いつでもサポートして下さるので、安心して活動できます。

これからも新たな10年に向かって、子育て支援の輪が広がっていくことを期待しています。

